月　日 名前

／100点

【中3】国語 文章問題　説明文 4

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

知らない町へ行く前に、私たちはたいてい、写真や口コミで下調べをする。行ってみると、たしかに写真と同じ景色がある。それなのに、なぜか写真で見たときとは違う印象を受けることが多い。

写真に写っているのは、その場所の一部分である。撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったものだ。そこには、写真の外側にあるもの、たとえば、道のにおいや、遠くから聞こえる音や、歩いたときの坂の重さは入っていない。私たちが写真から受け取るのは、撮った人の目を通して選ばれた情報なのである。

これは、写真だけのことではない。本や記事、人から聞いた話も、誰かが見たり考えたりしたことを、言葉にして伝えたものだ。どれほど正確に書かれていても、そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている。何を伝え、何を伝えなかったかという選択である。

もちろん、情報を通して世界を知ることは大切だ。自分の目で見られる範囲はかぎられている。遠い国のことも、昔のことも、私たちは他人の目を借りて知るしかない。問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである。

自分の目で見るとは、ただ現地に行くことではない。受け取った情報が、誰かの選択を通ったものだと意識しながら、自分でも選び直してみることだ。写真には写っていなかったものは何か。記事が書かなかったことは何か。そう問いながら見るとき、借りた目は、自分の目を育てる手がかりに変わる。

（この問題のための書き下ろし）

問一　筆者は、私たちが写真から受け取るのはどんな情報だと述べていますか。「～情報」につながるように、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問二　第二段落で、筆者が道のにおいや遠くの音、坂の重さを挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　写真の外側にあって、写真からは受け取れないものの例を示すため。
イ　写真を撮るときに気をつけるべきことを示すため。
ウ　知らない町を歩くときの危険を示すため。
エ　写真よりも、音やにおいのほうが大切だと主張するため。

問三　筆者は、本や記事、人から聞いた話にも必ず入っているものは何だと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問四　筆者が「問題」だと考えていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　情報を通して世界を知ろうとすること。
イ　遠い国や昔のことを知ろうとしないこと。
ウ　借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこむこと。
エ　写真や記事が、いつも正確でないこと。

問五　筆者の考える「自分の目で見る」とは、どういうことですか。六十字以内で説明しなさい。